

「話

したいことがある」

と、アドウェールの富山
 社長から連絡があったのは10月中
 旬。同社はゴルフ用のガラスコーテ
 イング剤『ハドラス』を展開してお
 り、専門店での年間施工件数は50万
 件、年間売上10億円に成長させた会
 社。コーティングで物が長持ちする
 ためSDGsが掲げる17項目のひと
 つ「つくる責任・つかう責任」にも
 適っている。その同社が新たな取り
 組みを始めるという。

「ゴルフ場はCO2の吸収に貢献し
 てますが、一方で森林を伐採して造
 られました。SDGsが叫ばれてい
 る今、業界一丸で環境問題に取り組
 む必要があると思います」

そこで「ハドラス for グリー
 ン」の活動を始めるという。『ハドラ
 ス』の取扱店が施工1件につき20円
 をフォレストストック協会に寄付するも
 のだ。

同協会は日本の森林保全に取り組
 んでおり、これまでNTTドコモ、J
 COM、大成建設、ゴルフ業界では
 キャロウェイゴルフなど、多くの企
 業とCO2削減活動を行なってきた。
 協会は金額に応じたCO2の吸収量
 を協力企業に提示するが、20円で年
 間20㎡の森林を守ることになるとい

う。つまり『ハドラス』の施工1件
 が、年間20㎡の森林保全に貢献する
 計算。

「世間でSDGsが叫ばれています
 が、大半の人は何をすればいいか分
 からないし、貢献度が具体的に見え
 ないという問題があります。今回の
 取り組みは数値で『見える化』でき、
 協力企業もCSRとして謳え、販売
 店もモチベーションが上がります。ゴ
 ルファーにも参加意識が生まれるな
 ど、皆で連携できる」

寄付金は協会を通じて林業従事者

に届けられ、自然環境や水が綺麗に
 保たれる好循環を生み出す。一見、い
 いことづくめだが、問題は販売店が
 利益を削って協力するのか、という
 ことだろう。

「施工料金の一部を寄付することに
 抵抗があるかもしれません。そこで
 参加店1店舗につき、最初の3か月
 間は当社が全額負担します。プログ
 ラムへの参加は強制ではありません
 が、当社も身を切る覚悟で参加を呼
 び掛けたい」

と、富山社長は前向きだ。

取扱店のひとつ、二木ゴルフは『ハ
 ドラス』の施工開始から1年ほどで

10万件に達したから、月間施工件数
 は平均8000件となる。3か月分
 となるとアドウェールの負担は48万円
 だが、つるやゴルフ、ゴルフ5、ヴ
 イクトリアゴルフなどの大手量販店
 も扱っており、合計すればかなりの
 負担となる。それを織り込んでなお
 進めるのは、

「ゴルフ業界は昔から連携の重要性
 が叫ばれてきましたが、メーカーも
 販売店も競合状態にあるため現実的
 には難しい。だけど、SDGsなら
 横串を刺せるのではないかと。将来的
 にはゴルフ場、練習場、メディアな
 どもにも協力を呼び掛け、ゴルフはS
 DGsに取り組んでいると発信した
 い。当社のメリットは、この活動を
 通じて『ハドラス』の価値が高まら
 ば満足ですよ」

同じ考えをもつのが日本ゴルフ場
 経営者協会の大石順一専務理事。

「一枚岩になりにくいゴルフ界が連
 携するために、SDGsは格好のテ
 ーマになるはずですよ」

と語っているが、業界の「同志」
 に呼びかければ連携の輪は広がりそ
 う。環境保全に業界の団結、市場活
 性化となれば一石三鳥。
 (大矢)



04

自腹を切ってSDGs ゴルフ界団結の狼煙をあげる

SDGsで業界を一枚岩にする？「ハドラス for グリーン」